

科目名 クラスキャリアデザインⅠ						
担当教員	担任	実務経験の有無	有	授業形態	学年・学期・単位数	
担当学科	全科	対象学年	1	開講時期	近年	
必修・選択	必修	単位数	4	開講数 (90分)	56コマ	
授業概要、目的、 授業のねめ方	1. 学校やクラスを知り、新しい環境に慣れる。 2. 各コースの取り組みやクラス内で活動を通して友人をつくる。 3. 各コースの目標や課題、振り返りを行う。 4. 人間力を育成し、人として成長する態度を持つ。					
学習目標 (到達目標)	基礎知識に到達する・実践力に到達する					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	実用行動学テキスト・作文力アップ! 伝わる文を書く・基本・コミュニケーション力アップ! 伝わる話し方・聴き方・書き方の基本・プレゼンテーション力アップ! 伝わる発表・資料・話し方の基本					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・評価		
1	新入生オリエンテーション			初対面、学友を知る		
2	新入生オリエンテーション			入学準備		
3	新入生オリエンテーション②			実習・レポート・課題		
4	新入生オリエンテーション③			クラスを明るく・元気・アキスト配分		
5	個人面談			個人面談、自己認識		
6	授業準備			学校のルールを知る①		
7	スーでの立ち振る舞い実習①			授業や実習で実践するための立ち方、声のかけ方を身につける		
8	大旅行計画①			初対面付け・クラスメートを知る・マジックドア1		
9	大旅行計画②			初対面付け・マジックドア2		
10	大旅行計画③			マジックドア3・マジックドア4		
11	大旅行計画④			マジックドア5・三浦道成シート振り返り		
12	大旅行計画⑤			自己認識、年間計画		
13	スケジュール確認・授業経路確認?			GW明けの準備、年次試験、授業の進捗について		
14	個人面談			面接要するスキルを習得		
15	個人面談			面接要するスキルを習得		
16	ヘアセット実習			インターンシップやアルバイトで使えるヘアセットの練習		
17	メイク実習			インターンシップやアルバイトで使えるメイクの練習		
18	クラスキャリアデザインⅠ			入団発表会発表		
19	新入生オリエンテーション④			インターンシップやアルバイトで使えるスキルを学ぶ		
20	新入生オリエンテーション⑤			インターンシップやアルバイトで使えるスキルを学ぶ		
21	学年キャリアデザイン			入団発表会のついでに、近況報告		
22	NSG大会参加			CFP対象イベントのため金銭負担		
23	NSG大会参加			CFP対象イベントのため金銭負担		
24	NSG大会参加			CFP対象イベントのため金銭負担		
25	NSG大会参加			CFP対象イベントのため金銭負担		
26	学年キャリアデザイン			卒業論文指導 (外部講師)		
27	スーでの立ち振る舞い実習②			インターンシップやアルバイトで使える立ち振る舞いの練習		
28	クラス交流			インターンシップやアルバイト		
29	後期オリエンテーション			年次・年間計画確認、卒業研究について		
30	クラスキャリアデザインⅠ			面接要するスキルを習得		
31	学年キャリアデザイン			入団発表会発表		
32	NSG大会参加			CFP対象イベントのため金銭負担		
33	NSG大会参加			CFP対象イベントのため金銭負担		
34	NSG大会参加			CFP対象イベントのため金銭負担		
35	クラスキャリアデザインⅠ			卒業論文指導のポイントと事前準備		
36	クラスキャリアデザインⅠ			卒業論文指導のポイントと事前準備		
37	クラスキャリアデザインⅠ			面接要するスキルを習得		
38	クラスキャリアデザインⅠ			面接要するスキルを習得		
39	クラスキャリアデザインⅠ			年次・年間計画・卒業研究について		
40	学年キャリアデザインⅠ			面接要するスキルを習得		
41	クラスキャリアデザインⅠ			面接要するスキルを習得		
42~51	クラスキャリアデザインⅠ			面接要するスキルを習得		
52	クラスキャリアデザインⅠ			卒業論文指導のポイントと事前準備		
53	クラスキャリアデザインⅠ			卒業論文指導 ポイント		
54	クラスキャリアデザインⅠ			面接要するスキルを習得		
55	クラスキャリアデザインⅠ			面接要するスキルを習得		
56	学年キャリアデザイン			修了式		
評価方法・成績評価基準						
この科目の評価は	1	2	5			によって総合的に評価される (番号を記入)
1 出席率 (8割以上) (50%)				6 発表 (5%)		
2 授業中の態度や参加意欲が評価できる (30%)				7 最終レポート (30%)		
3 授業中の発言や質問が評価できる (20%)				8 その他 (5%)		
4 期末試験 (50%)				9 その他 (5%)		
5 授業中の小テストや課題提出 (20%)				10 その他 (5%)		
※より詳細な各項目の評価が記載されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(50点以上)・F(不合格)とする						
履修上の注意	人としてどう成長したいのか。目標を達成しながら取り組んでください。					
実務経験教員の経歴	10年以上教務・実務経験あり					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	コースキャリアデザインⅠ					
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	通年	
必修・選択	必修	単位数	1	時間数(90分)	20コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	・2年生との関わりを通して、今後相談しやすい雰囲気をつくる ・葬祭業界のトレンドを学ぶ ・目標とする姿を決める					
学習目標 (到達目標)	・葬祭ディレクター科の学生である					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	自己紹介、カリキュラム説明					
2	企業研究・国内研修旅行について					
3	履歴書作成					
4	履歴書完成					
5	企業研究					
6	企業研究					
7	ユニバーサルマナー検定受講					
8	企業研究					
9	国内研修旅行動機づけ、説明					
10	国内研修旅行(東京)					
11	国内研修旅行(東京)					
12	国内研修旅行(東京)					
13	国内研修旅行(東京)					
14	国内研修旅行(東京)					
15	国内研修旅行(東京)					
16	国内研修旅行(東京)					
17	国内研修旅行(東京)					
18	国内研修旅行(東京)					
19~20	研修振り返りレポート					
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は	1	2	7			によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (40 %)				6 発表 (%)		
2 授業内の態度や参加度が評価できる (40 %)				7 最終レポート (20 %)		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)				8 その他 (%)		
4 期末試験 (%)				9 その他 (%)		
5 授業内の小テストや課題提出 (%)				10 その他 (%)		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意	自ら意欲的に調べ、学ぶ機会を作ること					
実務経験教員の経歴	10年以上教務・実務経験あり					

科目名	就職対策Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	全学科	対象学科	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数(90分)	40コマ
授業概要、目的、授業の進め方	就職活動を始める準備をする。職業観や働く意義を理解させ、授業や研修を展開していく。				
学習目標(到達目標)	自分の将来を自分ごとと捉え、職業観をもつ。履歴書の記入内容を理解し、正確に書く。エントリーシート作成や面接時に、志望動機や自己PRを書ける力をつける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	面接&ビジネスマナー　プリント類				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	多様性の中で働くとは		パウハウス様からの講話など		
2	面接対策&ビジネスマナー第2部　自己分析・PR				
3	履歴書の書き方①　書き方・見直し				
4	履歴書の書き方②　面接&ビジネスマナーⅠ章				
5	履歴書の清書テスト				
6	面接対策&ビジネスマナーⅢ章				
7	前期まとめ				
8～10	後期　就職研修①				
11	面接対策&ビジネスマナー第1～3部				
12	面接対策&ビジネスマナー第1～3部				
13	面接対策&ビジネスマナー第1～3部				
14～16	後期　就職研修②				
17	面接対策&ビジネスマナー第1～3部				
18～21	面接練習（求職登録面接①）				
22.23	面接準備				
24～27	面接練習（求職登録面接②）				
28～30	後期　就職研修③				
31～33	面接準備				
34～36	面接練習（求職登録面接③）				
37～40	後期　就職研修④				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	5		によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 40%）					6 発表（ %）
2 授業内の態度や参加度が評価できる（20%）					7 最終レポート（ %）
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）					8 その他 （ %）
4 期末試験（ %）					9 その他 （ %）
5 授業内の小テストや課題提出（ 40%）					10 その他 （ %）
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は　A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	働くことの価値ややりがいについて、はじめて考え、感じる学生も多いと思うので注視しながら進める				
実務経験教員の経歴	学生指導、職員指導歴10年以上				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅰ									
担当教員	原田愛		実務授業の有無	有	授業形態	対面と遠隔				
対象学科	全科		対象学年	1	開講時期	前期				
必修・選択	必修		単位数	1	時間数(90分)	8				
授業概要、目的、授業の進め方	社会人として必要な基本的なビジネスマナーロールプレイや演習を通して実践的に習得する。講義と演習を組み合わせ、一人一人が安心して発言、実践できる環境の中で進めていく。									
学習目標 (到達目標)	基本的な挨拶や敬語、相手に配慮した言葉使いや態度を実践できること。									
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	ウィネット「コミュニケーション講座」・「就活に役立つ文章講座」									
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1	オリエンテーション・マインドセット				講義					
2	身だしなみと姿勢・歩き方				講義・演習					
3	オンライン・マナー画面を通した「空気感」の作り方				講義・演習(PC使用)					
4	ビジネスメールの作成文字だけで「安心感」を与える行間と表現				講義・演習					
5	敬語の基本(3分類)、挨拶と表情・発声				講義・演習					
6	接遇用語とクッション言葉、報・連・相の基本				講義・演習					
7	電話対応の基本(受発信)				講義・演習					
8	総括・実技チェック				講義・演習					
評価方法・成績評価基準										
この科目評価は	1	2	5							によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (30 %)					6 発表 (%)					
2 授業内の態度や参加度が評価できる (30 %)					7 最終レポート (%)					
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)					8 その他 (%)					
4 期末試験 (%)					9 その他 (%)					
5 授業内の小テストや課題提出 (40 %)					10 その他 (%)					
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする										
履修上の注意	実践して身につける授業のため、積極的な参加を大切に、授業での間違いを恐れず間違いは学びの機会と捉え、安心して実践に取り組める環境のもとで演習を行う。									
実務経験教員の経歴	学生指導、職員指導歴10年以上									

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅱ				
担当教員	原田愛	実務授業の有無	有	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数(90分)	8
授業概要、目的、 授業の進め方	前期で取得したビジネスマナーを基本とし、より実践的な動作を学ぶ。あわせて、就職活動にも役立つマナーも習得する。				
学習目標 (到達目標)	状況に応じた適切な動作および言葉使いができるようになる。日常生活においても実践し、基本的な態度マナーを身につける。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	ウィネット「コミュニケーション講座」・「就活に役立つ文章講座」				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	来客対応と名刺交換(基本)			講義・演習	
2	案内の誘導と歩行マナー			講義・演習	
3	席次のルールと空間把握			講義・演習	
4	ビジネスマナーの基本全般			講義・演習	
5	物の受け渡しと物の扱い			講義・演習	
6	現場に合わせた敬語、クレームについて			講義	
7	シーン別基本動作の連結演習			講義・演習	
8	1年間の総仕上げ・実技テスト			講義	
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	5		によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (30 %)				6 発表 (%)	
2 授業内の態度や参加度が評価できる (30 %)				7 最終レポート (%)	
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)				8 その他 (%)	
4 期末試験 (%)				9 その他 (%)	
5 授業内の小テストや課題提出 (40 %)				10 その他 (%)	
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	演習を中心に、実際の場面を想定した課題にも取り組みます。フィードバックを通して改善を繰り返すことで、知識からできるに変わり、自信がもてるようになることを目指します。				
実務経験教員の経歴	学生指導、職員指導歴10年以上				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	コミュニケーション				
担当教員	担任	実務授業の有無	なし	授業形態	対面
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数(90分)	10コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	・グループワークで実際に取りながら、テキストで学んだ内容を実践で身に付ける。 ・過去問題を繰り返し取組み、問題の傾向や対策・ポイントを知る。				
学習目標 (到達目標)	・価値観の異なる人とコミュニケーションが取れるようになる ・コミュニケーション検定に合格する				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	コミュニケーション検定初級 公式ガイドブック＆問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	コミュニケーションの意味と目的、話す・傾聴・質問する		テキスト・動画		
2	言葉選びと話の組立て、表現方法を学ぶ		テキスト・動画		
3	来客対応、電話対応、訪問や挨拶の仕方		テキスト・動画		
4	情報共有の大切さ、チームコミュニケーション		テキスト・動画		
5	接客、営業の手法、クレーム対応		テキスト・動画		
6	会議、取材、ヒアリング、面接での対応の仕方		テキスト・動画		
7	問題の傾向を知る		模擬問題に取り組む		
8	問題に慣れる		過去問題に取り組む		
9	苦手を知り対策を行う		過去問題に取り組む		
10	検定本番		過去問題に取り組む		
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	3	5	によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (30 %)					6 発表 (%)
2 授業内の態度や参加度が評価できる (20 %)					7 最終レポート (%)
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (30 %)					8 その他 (%)
4 期末試験 (%)					9 その他 (%)
5 授業内の小テストや課題提出 (20 %)					10 その他 (%)
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	検定対策の過去問題の得点により、放課後に特講を行う場合がある。				
実務経験教員の経歴	学生指導、職員指導歴10年以上				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ソフトウェア活用実習Ⅰ（PCに慣れる）										
担当教員		竹内正明			実務授業の有無		有		授業形態		対面と遠隔	
対象学科		全科			対象学年		1		開講時期		前期	
必修・選択		必修			単位数		1		時間数（90分）		8コマ	
授業概要、目的、授業の進め方		ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要パソコンスキルを学ぶ										
学習目標（到達目標）		サーティファイWord文書処理能力検定3級 受験準備										
テキスト・教材・参考図書・その他資料		サーティファイWord2024クイックマスター基本編 Word文書処理能力検定3級問題集										
回数	授業項目、内容						学習方法・準備学習・備考					
1	事前準備、windowsの基礎①（エクスプローラー、拡張子等）						演習 PC必要					
2	Windowsの基礎②（保存の概念、インターネット、メール送受信等）						演習 PC必要					
3	Wordの基本、文字入力と編集の基本操作						演習 PC必要					
4	文書の編集、文書の印刷						演習 PC必要					
5	文書の作成						演習 PC必要					
6	表を使った文書の作成						演習 PC必要					
7	図形や画像を使った文書の作成						演習 PC必要					
8	総合学習問題						演習 PC必要					
評価方法・成績評価基準												
この科目評価は		1	2	3	5						によって総合的に評価される（番号を記入）	
1 出席率（8割以上）（25%）								6 発表（ %）				
2 授業内の態度や参加度が評価できる（25%）								7 最終レポート（ %）				
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（25%）								8 その他（ %）				
4 期末試験（ %）								9 その他（ %）				
5 授業内の小テストや課題提出（25%）								10 その他（ %）				
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする												
履修上の注意		通常の授業の内容を確実に理解し、問題集の問題を全て完成させることで検定合格に結びつくため、学生のモチベーションをキープさせることを心がける										
実務経験教員の経歴		学生指導、職員指導歴10年以上										

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅱ（Word検定対策）				
担当教員	小林智子	実務授業の有無	有	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	1	時間数（90分）	9コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学び、Word検定3級に合格する				
学習目標 （到達目標）	サーティファイWord文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	サーティファイWord2024クイックマスター基本編 Word文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	検定対策 問題集練習問題1		演習 PC必要		
2	検定対策 問題集練習問題2.3		各自の進度によって演習 PC必要		
3	検定対策 問題集模擬問題1		演習 PC必要		
4	検定対策 問題集模擬問題2～7		各自の進度によって演習 PC必要		
5	検定対策 問題集模擬問題2～7		各自の進度によって演習 PC必要		
6	検定対策 問題集模擬問題2～7		各自の進度によって演習 PC必要		
7	検定対策 問題集模擬問題2～7		各自の進度によって演習 PC必要		
8	サンプル問題		各自の進度によって演習 PC必要		
9	検定試験				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	3	5	によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（25%）					6 発表（%）
2 授業内の態度や参加度が評価できる（25%）					7 最終レポート（%）
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（25%）					8 その他（%）
4 期末試験（%）					9 その他（%）
5 授業内の小テストや課題提出（25%）					10 その他（%）
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	通常の授業の内容を確実に理解し、問題集の問題を全て完成させることで検定合格に結びつくため、学生のモチベーションをキープさせることを心がける				
実務経験教員の経歴	学生指導、職員指導歴10年以上				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		日常英会話Ⅰ								
担当教員		藤田愛子		実務授業の有無		有	授業形態		対面・オンライン	
対象学科		全学科		対象学年		1	開講時期		前期	
必修・選択		必修		単位数		1	時間数（90分）		10コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方		スタディサプリEnglishからのアプリを用いて、英会話の授業を習熟度別に行う。苦手意識を持たず、たくさん発音できる環境をつくる。入社後は海外からのお客様を相手にすることも多いことを念頭に置いてスムーズな発語とリスニングにも力を入れて進める。								
学習目標 (到達目標)		自分のレベル課題が終了し、英語への抵抗感がなくなる								
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		スタディサプリEnglish								
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考				
1	オリエンテーション					スタディサプリEnglish				
2	Unit 1 Lesson 5 （トレーニング1/2/4）									
3	Unit 2 Lesson10 （トレーニング1/2/4）									
4	Unit3 Lesson15 （トレーニング1/2/4）									
5	Unit6 Lesson30 （トレーニング1/2/4）									
6	Unit7 Lesson35 （トレーニング1/2/4）									
7	Unit9 Lesson45 （トレーニング1/2/4）									
8	Unit10 Lesson50 （トレーニング1/2/4）									
9	Unit11 Lesson55 （トレーニング1/2/4）									
10	総合確認									
評価方法・成績評価基準										
この科目評価は		1	2	5						によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30%）							6 発表（ %）			
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30%）							7 最終レポート（ %）			
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）							8 その他（ %）			
4 期末試験（ %）							9 その他（ %）			
5 授業内の小テストや課題提出（ 40%）							10 その他（ %）			
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする										
履修上の注意		高校時代の学習レベルが違うことに配慮し、文法よりも楽しく会話することに重点を置く。								
実務経験教員の経歴		10年以上経験あり								

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		日常英会話Ⅱ									
担当教員		藤田愛子		実務授業の有無		有		授業形態		対面・オンライン	
対象学科		全学科		対象学年		1		開講時期		後期	
必修・選択		必修		単位数		1		時間数(90分)		10コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方		スタディサプリEnglishからのアプリを用いて、英会話の授業を習熟度別に行う。苦手意識を持たず、									
学習目標 (到達目標)		自分のレベル課題が終了し、英語への抵抗感がなくなる									
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		スタディサプリEnglish									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	オリエンテーション					スタディサプリEnglish					
2	Unit 26 Lesson130 (トレーニング1/2/4)										
3	Unit 27 Lesson135 (トレーニング1/2/4)										
4	Unit 28 Lesson140 (トレーニング1/2/4)										
5	Unit 30 Lesson150 (トレーニング1/2/4)										
6	Unit 31 Lesson155 (トレーニング1/2/4)										
7	Unit 32 Lesson160 (トレーニング1/2/4)										
8	Unit10 Lesson50 (トレーニング1/2/4)										
9	Unit11 Lesson55 (トレーニング1/2/4)										
10	総合確認										
評価方法・成績評価基準											
この科目評価は		1	2	5						によって総合的に評価される(番号を記入)	
1 出席率(8割以上) (30%)							6 発表 (%)				
2 授業内の態度や参加度が評価できる (30%)							7 最終レポート (%)				
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)							8 その他		(%)		
4 期末試験 (%)							9 その他		(%)		
5 授業内の小テストや課題提出 (40%)							10 その他		(%)		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする											
履修上の注意		高校時代の学習レベルが違うことに配慮し、文法よりも楽しく会話することに重点を置く。									
実務経験教員の経歴		10年以上経験あり									

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		葬儀概論（葬儀の意味を学ぶ）									
担当教員		馬場秀憲		実務授業の有無		有		授業形態		対面とオンライン	
対象学科		葬祭ディレクター科		対象学年		1		開講時期		前期	
必修・選択		必修		単位数		1		時間数（90分）		10コマ	
授業概要、目的、授業の進め方		・葬儀を行う目的を知り、自分が目指す業界の仕事を知る									
学習目標（到達目標）		・葬儀の意味を理解する									
テキスト・教材・参考図書・その他資料		葬儀概論 YouTubeなど動画									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	ヒアリングシート、なぜ葬儀をするのか、グリーフについて					テキスト・資料・動画					
2	葬儀のお仕事、求められる力について					テキスト・資料・動画					
3	葬祭業界の企業について、企業の取り組み					テキスト・資料・動画					
4	映像視聴					テキスト・資料・動画					
5	グリーフとの向き合い方、グリーフワークとは					テキスト・資料・動画					
6	映像視聴					テキスト・資料・動画					
7	グループワーク「人の最期に触れる仕事は」					テキスト・資料・動画					
8	映像視聴					テキスト・資料・動画					
9	葬儀はグリーフワークの一つ					テキスト・資料・動画					
10	確認レポート										
評価方法・成績評価基準											
この科目評価は		1	2	7						によって総合的に評価される（番号を記入）	
1 出席率（8割以上）（ 50 %）							6 発表（ %）				
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）							7 最終レポート（ 20 %）				
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）							8 その他（ %）				
4 期末試験（ %）							9 その他（ %）				
5 授業内の小テストや課題提出（ %）							10 その他（ %）				
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする											
履修上の注意		業界の関する情報は、自らも積極的に調べて知識を増やしてください。									
実務経験教員の経歴		10年以上経験あり									

科目名	葬儀概論Ⅰ（実際の葬儀の流れを学ぶ）				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数（90分）	15コマ
授業概要、目的、授業の進め方	・葬儀の一般的な流れを学ぶ				
学習目標（到達目標）	・確認テストで習得度を確認する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	葬儀概論テキストほか				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業の目的を知る 死亡診断書、死亡届の手続きを学ぶ				
2	末期の水、遺族からの依頼受付（電話対応）				
3	遺体搬送（ストレッチャーの扱い方）、打ち合わせの内容を知る、見聴、枕飾りの仕方				
4	枕経、湯灌（映像を見る）、遺体の変化、設営（祭壇設営）				
5	飾り付け、通夜、葬儀				
6	司会進行、出棺、火葬				
7	撤収、アフターサービス、法要、事前相談				
8	見学する企業を調査する・質問を考える				
9	企業見学＋卒業生座談会				
10	企業見学＋卒業生座談会				
11	企業見学の振り返り				
12	斎場見学				
13	地域の葬儀風習調査① 出身地				
14	地域の葬儀風習調査② 全国				
15	確認テスト				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は		1	2	4	によって総合的に評価される（番号を記入）
1	出席率（8割以上）（ 30 %）	6 発表（ %）			
2	授業内の態度や参加度が評価できる（ 40 %）	7 最終レポート（ %）			
3	検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）	8 その他（ %）			
4	期末試験（ 30 %）	9 その他（ %）			
5	授業内の小テストや課題提出（ %）	10 その他（ %）			
※より詳細な各項目の評価％が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	時間を作って予習・復習に取り組んでください				
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬儀概論Ⅰ（葬儀の宗教儀礼を学ぶ）									
担当教員	馬場秀憲		実務授業の有無	有	授業形態	対面				
対象学科	葬祭ディレクター科		対象学年	1	開講時期	後期				
必修・選択	必修		単位数	1	時間数	8コマ				
授業概要、目的、 授業の進め方	・葬儀に関わる宗教儀礼の概要を学ぶ									
学習目標 (到達目標)	・確認テストに合格できる									
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	葬儀概論テキストその他									
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1	授業の目的を知る、日本の宗教団体概要について、神道				テキスト、動画など					
2	仏教、キリスト教、諸教				テキスト、動画など					
3	神葬祭、天台宗、真言宗				テキスト、動画など					
4	浄土宗、浄土真宗、臨済宗				テキスト、動画など					
5	曹洞宗、日蓮宗				テキスト、動画など					
6	カトリック、プロテスタント				テキスト、動画など					
7	天理教、金光教、友人葬				テキスト、動画など					
8	確認テスト									
評価方法・成績評価基準										
この科目評価は	1	2	4							によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）					6 発表（ %）					
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 40 %）					7 最終レポート（ %）					
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）					8 その他（ %）					
4 期末試験（ 30 %）					9 その他（ %）					
5 授業内の小テストや課題提出（ %）					10 その他（ %）					
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする										
履修上の注意	時間を作って予習・復習に取り組んでください									
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり									

科目名	手話演習Ⅰ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	非認知ディレクターⅡ・ホスピタリティ・ベーシック科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数(90分)	8コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	手話言語及び文化に関する講義及び実技				
学習目標 (到達目標)	手話で挨拶ができるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	谷千春監修『ゼロからわかる手話入門』主婦の友社、2019年				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション・①あいさつ 内容：授業説明、手話の基本、基本のあいさつ表現		テキスト例文の確認、模倣練習、ペア会話		
2	授業項目：②返事 内容：はい・いいえなどの基本的な返答表現		例文練習、対話演習		
3	授業項目：③あいづち 内容：会話を続けるための表現		会話練習、ロールプレイ		
4	授業項目：④自己紹介 内容：名前・出身などの自己紹介		自己紹介演習、ミニ発表		
5	授業項目：⑤天気 内容：天気に関する語彙と簡単な会話		例文練習、ペア対話		
6	授業項目：⑥遊び・趣味 内容：趣味や好きなことの表現		質問形式の会話練習		
7	授業項目：⑦学校 内容：学校生活に関する手話		ロールプレイ		
8	授業項目：⑧家族（まとめ） 内容：家族の紹介、前期内容の総合練習		会話演習、振り返り		
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	4		によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（70%）					6 発表（ %）
2 授業内の態度や参加度が評価できる（10%）					7 最終レポート（ %）
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）					8 その他（ %）
4 期末試験（20%）					9 その他（ %）
5 授業内の小テストや課題提出（ %）					10 その他（ %）
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	テキストは授業の前に目を通しておくことをおすすめします。 手話を言語として生活している方(聾者講師)と聴者講師によって授業進行します。				
実務経験教員の経歴	学校や大学における手話指導経験、手話通訳、社会福祉				

科目名	葬祭フラワー演習Ⅰ									
担当教員	馬場秀憲		実務授業の有無		有		授業形態		対面	
対象学科	葬祭ディレクター科		対象学年		1		開講時期		前期	
必修・選択	必修		単位数		1		時間数(90分)		8コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	葬祭フラワーの基本 装花・花の取り扱いをみに着ける									
学習目標 (到達目標)	花の取り扱いを知り、葬祭の花の役割を学ぶ									
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント・花資材									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考				
1	仏花									
2	葬儀の花 インターネットリサーチ									
3	お供えアレンジメント									
4	お供え花束									
5	海外のフューネラル									
6	ミニ洋風枕花									
7	造花の祭壇作り直し									
8	期末テスト									
評価方法・成績評価基準										
この科目評価は	1	2	4	8	9					によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (20 %)						6 発表 (%)				
2 授業内の態度や参加度が評価できる (20%)						7 最終レポート (%)				
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)						8 その他 出来栄え 20%				
4 期末試験 (20%)						9 その他 作業行動 20%				
5 授業内の小テストや課題提出 (%)						10 その他 (%)				
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする										
履修上の注意	花の取り扱いを、生花を使って体験していく									
実務経験教員の経歴	花屋歴34年・フラワー装飾技能検定1級技能士・職業訓練指導員・厚生労働省ものづくりマイスター									

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	グリーフサポートⅠ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数(90分)	8コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	遺族の感情の変化や思いを聴く心構えを学ぶ				
学習目標 (到達目標)	感情の変化や思いに関心を持つようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	レジュメ				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	オリエンテーション				
2	この仕事は何を扱う仕事か				
3	生きること、死ぬこととは				
4	緩和ケアの現状①				
5	緩和ケアの現状②				
6	悲しみのかたちはそれぞれ違う				
7	寄り添うって何？				
8	死に慣れはない、弔いは大切な人を失った人へのケア			レポート	
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	7		によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (30 %)				6 発表 (%)	
2 授業内の態度や参加度が評価できる (30 %)				7 最終レポート (40 %)	
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)				8 その他 (%)	
4 期末試験 (%)				9 その他 (%)	
5 授業内の小テストや課題提出 (%)				10 その他 (%)	
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	グリーフに関わるうえで、セルフケアができていくように意識してください。				
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	基礎心理学（認知、社会）									
担当教員	馬場秀憲		実務授業の有無	有	授業形態	対面				
対象学科	葬祭ディレクター科		対象学年	1	開講時期	後期				
必修・選択	必修		単位数	1	時間数（90分）	8コマ				
授業概要、目的、 授業の進め方	・認知心理学、社会心理学の学習を通して、自己理解、他者理解への意識を持つ									
学習目標 （到達目標）	・確認テストで合格できる力を身につける									
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	こころ検定4級 公式テキスト・問題集									
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1	授業の目的を知る、認知心理学とは、覚えると忘れる				テキスト、動画、PPなど					
2	記憶とこころの関係、考えとこころの関係				テキスト、動画、PPなど					
3	時間と心との関係、こころと物事のとりえ方				テキスト、動画、PPなど					
4	ミニテスト・認知心理学まとめ				テキスト、動画、PPなど					
5	社会心理学とは、どうして他者が気になるのか				テキスト、動画、PPなど					
6	どうしたら良くみられるのか、恋愛とこころの関係				テキスト、動画、PPなど					
7	コミュニケーションとこころ、個人と集団の違い				テキスト、動画、PPなど					
8	確認テスト									
評価方法・成績評価基準										
この科目評価は	1	2	4	5						によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）					6 発表（ %）					
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 20 %）					7 最終レポート（ %）					
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）					8 その他（ %）					
4 期末試験（ 30 %）					9 その他（ %）					
5 授業内の小テストや課題提出（ 20 %）					10 その他（ %）					
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする										
履修上の注意	時間を作って予習・復習に取り組んでください									
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり									

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ストレスとこころの健康（生理・感情・知能）				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数（90分）	8コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	・生理心理学、感情心理学、知能の学習を通して、自己理解、他者理解への意識を持つ				
学習目標 （到達目標）	・確認テストで合格できる力を身につける				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	こころ検定4級 公式テキスト・問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業の目的を知る、生理心理学とは、脳・神経とこころ		テキスト、動画、PPなど		
2	「起きる」「眠る」とこころ、ウソとこころ		テキスト、動画、PPなど		
3	ストレスの基礎知識、ミニテスト		テキスト、動画、PPなど		
4	感情心理学とは、気持ちとは、気持ちと身体の関係、		テキスト、動画、PPなど		
5	気持ちを測定する方法、どうしたらやる気ができるのか、		テキスト、動画、PPなど		
6	他者の気持ちを理解すること、知能とは、知能の構造、		テキスト、動画、PPなど		
7	人間と動物の知能、知能を測定する方法		テキスト、動画、PPなど		
8	確認テスト				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	4	5	によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）					6 発表（ %）
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 20 %）					7 最終レポート（ %）
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）					8 その他（ %）
4 期末試験（ 30 %）					9 その他（ %）
5 授業内の小テストや課題提出（ 20 %）					10 その他（ %）
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	時間を作って予習・復習に取り組んでください				
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	基本キーワード心理学（学習・知覚）					
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	後期	
必修・選択	必修	単位数	1	時間数（90分）	8コマ	
授業概要、目的、授業の進め方	・学習心理学、知覚心理学の学習を通して、自己理解、他者理解への意識を持つ					
学習目標（到達目標）	・確認テストで合格できる力を身につける					
テキスト・教材・参考文献・その他資料	こころ検定4級 公式テキスト・問題集					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	授業の目的を知る、学習心理学とは、なぜ行動してしまうのか		テキスト、動画、PPなど			
2	なぜ、やめられないのか、行動に影響を与えるこころの作用		テキスト、動画、PPなど			
3	もっと上手に行動するには、		テキスト、動画、PPなど			
4	ミニテスト・学習心理学まとめ		テキスト、動画、PPなど			
5	知覚心理学とは、奥行きの知覚、錯視		テキスト、動画、PPなど			
6	聞くこととこころの関係、連動する知覚		テキスト、動画、PPなど			
7	様々な知覚		テキスト、動画、PPなど			
8	確認テスト					
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は	1	2	4	5	によって総合的に評価される（番号を記入）	
1 出席率（8割以上）（ 30 %）				6 発表（ %）		
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 20 %）				7 最終レポート（ %）		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）				8 その他（ %）		
4 期末試験（ 30 %）				9 その他（ %）		
5 授業内の小テストや課題提出（ 20 %）				10 その他（ %）		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意	時間を作って予習・復習に取り組んでください					
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり					

科目名		伝える力を伸ばす（進級制作）					
担当教員		馬場秀憲		実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科		葬祭ディレクター科		対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択		必修		単位数	1	時間数（90分）	15コマ
授業概要、目的、授業の進め方		・1年間取り組んできた授業、実習、イベントなどから自己成長した事をまとめ、自己PRを作成・台本やPPにまとめて発表する					
学習目標（到達目標）		自己PRが完成する					
テキスト・教材・参考図書・その他資料		特になし					
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考		
1	授業の目的を知る、取り組んだことを振り返りエピソードを決める						
2	エピソードをもとに、自己成長したことを思い出し文章を作る						
3	大まかない内容チェック						
4	台本作成						
5	台本チェック						
6	PP作成						
7	PPチェック						
8	台本・PPチェック						
9	台本・PP完成						
10	発表リハーサル・話し方チェック						
11	止めリハ						
12	通しリハーサル						
13	全体リハーサル						
14	発表会本番						
15	振り返り						
評価方法・成績評価基準							
この科目評価は		1	2	6			によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）						6 発表（ 40 %）	
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）						7 最終レポート（ %）	
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）						8 その他（ %）	
4 期末試験（ %）						9 その他（ %）	
5 授業内の小テストや課題提出（ %）						10 その他（ %）	
※より詳細な各項目の評価％が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする							
履修上の注意		自己PRは台本を見なくても話せるように練習すること					
実務経験教員の経歴		10年以上経験あり					

科目名		納棺演習				
担当教員		馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科		葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数	1	時間数(90分)	10コマ
授業概要、目的、 授業の進め方		・実習を通して納棺の技術を身につける				
学習目標 (到達目標)		・納棺式の流れを覚え、一人で納棺ができるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		葬儀概論その他				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	授業の目的を知る			テキスト・資料・動画		
2	納棺着せ替え演習①			テキスト・資料・動画		
3	納棺着せ替え演習②			テキスト・資料・動画		
4	納棺の儀式台本を覚える			テキスト・資料・動画		
5	2人1組でメイクを実践する			テキスト・資料・動画		
6	台本に合わせてメイク、お別れ、着せ替え、棺に納めるまでの一連の流れを行う			テキスト・資料・動画		
7	台本に合わせてメイク、お別れ、着せ替え、棺に納めるまでの一連の流れを行う			テキスト・資料・動画		
8	台本に合わせてメイク、お別れ、着せ替え、棺に納めるまでの一連の流れを行う			テキスト・資料・動画		
9	納棺テスト①			テキスト・資料・動画		
10	納棺テスト②			テキスト・資料・動画		
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は	1	2	4			によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上)(30 %)				6 発表 (%)		
2 授業内の態度や参加度が評価できる (30 %)				7 最終レポート (%)		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)				8 その他	(%)	
4 期末試験 (40 %)				9 その他	(%)	
5 授業内の小テストや課題提出 (%)				10 その他	(%)	
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意	学校でしか練習できないため、授業は集中して取り組んでください					
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬祭ディレクター技能審査（幕張課題）を知る					
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	前期	
必修・選択	必修	単位数	1	時間数（90分）	8コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	・実習を通して幕張技術を身につける					
学習目標 （到達目標）	・資料を見なくても幕張ができるようになる					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	葬儀概論その他					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	授業の目的を知る、葬儀における幕の意味と課題内容を知る		講義と実演			
2	試験内容とポイントを知る		演習			
3	資料を見ないで張る練習をする		演習			
4	資料を見ないで張る練習をする		演習			
5	資料を見ないで張る練習をする		演習			
6	タイムを計測する		演習			
7	スピードアップのば員んと		演習			
8	確認テスト		演習			
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は	1	2	4			によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）				6 発表（ %）		
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）				7 最終レポート（ %）		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）				8 その他（ %）		
4 期末試験（ 40 %）				9 その他（ %）		
5 授業内の小テストや課題提出（ %）				10 その他（ %）		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意	学校でしか練習できないため、授業は集中して取り組んでください					
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		葬祭ディレクター技能審査（接遇・司会課題）を知る				
担当教員		馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科		葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択		必修	単位数	1	時間数（90分）	8コマ
授業概要、目的、 授業の進め方		葬祭ディレクター2級の「接遇」「司会」のやり方を覚える				
学習目標 （到達目標）		葬祭ディレクター2級の「接遇」「司会」を台本を見た状態で合格レベルに達する				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		葬祭ディレクター技能審査受験のご案内(抜粋)、大切な方を安心して送るために。（当社で使用する資料）、ビデオ(ホール葬時代の葬祭接遇スキルを磨く)、接遇の過去問題-台本、司会の過去問題-台本				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	検定「接遇」の目的、課題、注意事項、評価ポイントの説明			座学		
2	検定「接遇」の過去問題からの台本を見ながらの実演			準備学習・・発生、台本の熟読 学習方法・・演習		
3	葬儀の司会の実態			座学、ビデオ視聴		
4	検定「司会」の目的、課題、注意事項、評価ポイントの説明①			座学		
5	検定「司会」の目的、課題、注意事項、評価ポイントの説明②			座学		
6	検定「司会」の過去問題からの台本を見ながら実演①			準備学習・・発生、台本の熟読 学習方法・・演習		
7	検定「司会」の過去問題からの台本を見ながら実演②			準備学習・・発生、台本の熟読 学習方法・・演習		
8	検定「接遇」「司会」の振り返り			座学、演習		
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は		1	2	6		によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）					6 発表 （ 40 %）	
2 授業内の態度や参加度が評価できる （ 30 %）					7 最終レポート（ %）	
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）					8 その他 （ %）	
4 期末試験 （ %）					9 その他 （ %）	
5 授業内の小テストや課題提出 （ %）					10 その他 （ %）	
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意		接遇・・・検定課題の中で比較的容易な項目であり、接客の基礎として完成度を高め2年生時に繋げたい。 司会・・・検定試験の中で難易度が高い項目であり、実体験として低い為、葬儀司会の雰囲気を読み、式次第の項目の理解を優先し、台本を読めるところまでをゴールとして2年生時に繋げたい。				
実務経験教員の経歴		10年以上経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ホスピタリティ産業論									
担当教員		鈴木敬一郎・古田千晶		実務授業の有無		有		授業形態		対面とオンライン	
対象学科		葬祭ディレクター科		対象学年		1		開講時期		前期	
必修・選択		必修		単位数		1		時間数（90分）		8コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方		業界の職種や仕事内容、ケーススタディから「人としてどう生きるか」と考えてもらう									
学習目標 (到達目標)		「自分の人生をどう生きるか」「どんな人になりたいか」を一人一人が考える									
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		特になし									
回数	授業項目、内容						学習方法・準備学習・備考				
1	自己紹介、ガイダンス（スケジュール・評価方法）、 ホテルの概要、						レジュメ、パワーポイント、動画				
2	ホテルで働く魅力、ホテル業界の環境、現況、 ホテルの種類・形態						レジュメ、パワーポイント、動画				
3	ホテルの仕事①（宿泊部門） （組織・職種・業務内容・基礎知識）						レジュメ、パワーポイント、動画				
4	ホテルの仕事②（料飲・宴会部門） （組織・職種・業務内容・基礎知識）まとめ						レジュメ、パワーポイント、DVD				
5	「結婚式」とは？ 挙式と披露宴、挙式スタイル、働く場所、何のためにやる？						パワーポイント、動画				
6	ウェディングのスケジュール・To doと、関わる職種						パワーポイント、動画				
7	挙式・披露宴の演出と、知っておきたい参列マナー						パワーポイント、動画、プリント教材				
8	おもてなしウェディングアワードについて						パワーポイント、動画、プリント（レポート）				
評価方法・成績評価基準											
この科目評価は		1	2	5	7					によって総合的に評価される（番号を記入）	
1 出席率（8割以上）（ 30 %）								6 発表（ %）			
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 10 %）								7 最終レポート（ 50 %）			
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）								8 その他		（ %）	
4 期末試験（ %）								9 その他		（ %）	
5 授業内の小テストや課題提出（ 10 %）								10 その他		（ %）	
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする											
履修上の注意		専門知識は前提としないが、授業を通じて扱う内容は実務や就職活動と密接に関係している。業界や職業観を自分自身の進路と結びつけながら、主体的に受講すること。									
実務経験教員の経歴		10年以上経験あり									

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ファシリテーション入門				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	後期	
必修・選択	必修	単位数	1	時間数(90分)	8コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	チームや業界関係者との話し合いで安心して意見を表現できるよう、ファシリテーションの体験と基礎理解を通して、場を整える力や聴く力、相手に寄り添う力を育てる。グループワーク・振り返り・全体共有を繰り返し、体験→理解→実践を段階的に進める					
学習目標 (到達目標)	相手の話を遮らずに聴くことができる、自分の考えを落ち着いて言語化できる、異なる意見を否定せず受け止められる、話し合いを円滑に進める基本的技術を理解する、葬儀業界で「場を支える人」の役割を理解する					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	知っておけば怖くない ファシリテーション超入門 メイツ出版					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1	オリエンテーション&ファシリテーション体験①		授業の目的・進め方説明、「なぜ葬祭学科にファシリテーションか」説明、ペア&グループワーク			
2	ファシリテーションの基礎		ファシリテーションの定義、ファシリテーターの役割、ペア&グループワーク、テキスト必要			
3	傾聴の技術		話を聴く姿勢、相づち、受け止め方など、対話における傾聴の基本を学ぶ。ペアワークで傾聴の練習を行う。テキスト必要			
4	良い問いの作り方		話し合いを促す質問の種類(オープン・クローズド)を学び、話しやすくなる問いの作り方を練習する。テキスト必要			
5	合意形成の進め方		グループでの話し合いの中で意見を整理し、共通点を見つけながら合意形成を進める方法を学ぶ。テキスト必要			
6	意見交換会テーマ検討		意見交換会に向けて話し合いたいテーマを出し合い、グループで整理しながらテーマを決定する。			
7	ファシリテーション実践		テーマをもとに、学生がファシリテーター役を交代しながら話し合いを進める練習を行い、意見交換会に向けて準備する。			
8	振り返り・総括		意見交換会を振り返り、授業全体を通しての学びや自身の変化を整理する。			
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は		1	2	7	によって総合的に評価される(番号を記入)	
1 出席率(8割以上)(30 %)				6 発表 (%)		
2 授業内の態度や参加度が評価できる (30 %)				7 最終レポート (40 %)		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)				8 その他 (%)		
4 期末試験 (%)				9 その他 (%)		
5 授業内の小テストや課題提出 (%)				10 その他 (%)		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意	知識を身につけるとともに実践で活用する機会があるので、積極的に参加してください。					
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	考える力を伸ばす（イベントⅠ）				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数	1	時間数（90分）	10コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	・企業が行っているお別れ会や葬儀のやり方を自分なりに調べる ・設定した故人のお別れ会を企画し、P Pで発表する				
学習目標 （到達目標）	・故人や残された遺族、関係者の思いに寄り添うお別れ会を企画し発表する				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	授業の目的を知る				
2	お別れ会や葬儀のやり方、ターゲットの調査				
3～4	台本・パワポ作成				
5～6	台本・パワポチェック				
7～9	発表会リハーサル				
10	発表会本番（2年生見学）・振り返り				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	6	8	によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 25 %）				6 発表（ 30 %）	
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 25 %）				7 最終レポート（ %）	
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）				8 その他	パワポデザインやこだわり 20%
4 期末試験（ %）				9 その他	（ %）
5 授業内の小テストや課題提出（ %）				10 その他	（ %）
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	いろいろなケースを調べて、オリジナルの企画を考えてください。				
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		アサーションとチームワーク（模擬葬儀）										
担当教員		馬場秀憲			実務授業の有無		有		授業形態		対面	
対象学科		葬祭ディレクター科			対象学年		1		開講時期		後期	
必修・選択		選択			単位数		1		時間数（90分）		15コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方		・チームの中で自分の役割を理解し、周囲と協働する力を身につける ・想定した故人を送るための儀式、プランなど企画を考え、形にする ・企業のスタッフに見学してもらい評価をもらう										
学習目標 (到達目標)		・他者と協働する経験からチームワークを理解する										
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		特になし										
回数	授業項目、内容						学習方法・準備学習・備考					
1	授業の目的を知る、故人について情報収集する											
2	チームごとにプランを考える											
3～4	役割決め、作成物準備											
5～6	装飾決め、担当決め・各自準備（音響、台本、装飾など）											
7	装飾チェック											
8	止めリハーサル											
9	リハーサルチェック											
10～12	修正											
13～14	通しリハーサル											
15	模擬葬儀本番											
評価方法・成績評価基準												
この科目評価は		1	2	6	8						によって総合的に評価される（番号を記入）	
1 出席率（8割以上）（ 25 %）								6 発表（ 30 %）				
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 25 %）								7 最終レポート（ %）				
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）								8 その他		企業の方のコメント	20%	
4 期末試験（ %）								9 その他			（ %）	
5 授業内の小テストや課題提出（ %）								10 その他			（ %）	
※より詳細な各項目の評価％が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする												
履修上の注意		チームメンバーとの情報共有、相談、連絡を密にすること、 自分がいない場合他者に頼める状況をつくっておくこと										
実務経験教員の経歴		10年以上経験あり										

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	RESASを活用した地域分析を学ぶI				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数	1	時間数(90分)	10コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	・RESASを通して知った地域の課題を解決するための施策を考える ・考えた施策を他者に理解してもらうための資料を作成する				
学習目標 (到達目標)	・企業や社会から企画案に対するフィードバックをもらう				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	授業の目的を知る、RESASの使用方法を学ぶ、実際に使用してみる				
2	RESASで自分が調査したい地域を調べて、課題を見つける				
3	見つけた課題の裏付けを取るため、アンケートを実施する				
4	資料から課題解決案を考える				
5	解決案へのフィードバックを企業や地域の方からもらう				
6	企画案をブラッシュアップさせる				
7	台本、PPに落とし込む				
8	台本、PPチェック				
9	発表練習				
10	発表本番				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	6		によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (30 %)				6 発表 (40 %)	
2 授業内の態度や参加度が評価できる (30 %)				7 最終レポート (%)	
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)				8 その他 (%)	
4 期末試験 (%)				9 その他 (%)	
5 授業内の小テストや課題提出 (%)				10 その他 (%)	
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	他者からの意見も踏まえて、実現可能かどうか・効果があるかなど具体的な施策を考えること				
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり				

科目名		RESASを活用した地域分析を学ぶⅡ					
担当教員		馬場秀憲		実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科		葬祭ディレクター科		対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択		選択		単位数	1	時間数(90分)	15コマ
授業概要、目的、 授業の進め方		・RESASを通して知った地域の課題を解決するための施策を考える ・考えた施策を他者に理解してもらうための資料を作成する					
学習目標 (到達目標)		・企業や社会から企画案に対するフィードバックをもらう					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		特になし					
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考		
1	授業の目的を知る、前期の振り返りと改善点を知る						
2	地域の課題を再確認し、アンケートを作成する						
3	地域の課題について自分たちの意見をまとめる						
4	企業などからフィードバックをもらう						
5	フィードバックをもとに深堀する						
6	企画案をブラッシュアップさせる						
7	企画書作成						
8	台本・PP作成						
9	企画書チェック						
10	台本・PPチェック						
11	招待状手配						
12	台本・PP・企画書完成						
13	リハーサル						
14	発表本番						
15	振り返り						
評価方法・成績評価基準							
この科目評価は		1	2	6			によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (30 %)						6 発表 (40 %)	
2 授業内の態度や参加度が評価できる (30 %)						7 最終レポート (%)	
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)						8 その他 (%)	
4 期末試験 (%)						9 その他 (%)	
5 授業内の小テストや課題提出 (%)						10 その他 (%)	
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする							
履修上の注意		他者からの意見も踏まえて、実現可能かどうか・効果があるかなど具体的な施策を考えること					
実務経験教員の経歴		10年以上経験あり					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	インターンシップ実習Ⅰ					
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	前期	
必修・選択	選択	単位数	1	時間数(90分)	15コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	・現場で学び、業界や仕事の理解に繋げる ・事前に学習したり準備することで、自ら学ぶ姿勢で取り組む					
学習目標 (到達目標)	・インターンシップに参加し、自分の目指す姿を想像できるようになる					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1～2	インターンシップレポート準備、目標書き、企業研究					
3	インターンシップ発表 座談会					
4～13	インターンシップ研修					
14	終了面談					
15	振り返り					
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は	1	2	7			によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (30 %)	6 発表 (%)					
2 授業内の態度や参加度が評価できる (50 %)	7 最終レポート (20 %)					
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)	8 その他 (%)					
4 期末試験 (%)	9 その他 (%)					
5 授業内の小テストや課題提出 (%)	10 その他 (%)					
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意	企業の方の迷惑にならないように、ビジネスマナーや礼儀を弁えた行動を取ること。					
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	インターンシップ実習 II					
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	後期	
必修・選択	選択	単位数	1	時間数(90分)	15コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	・現場で学び、業界や仕事の理解に繋げる ・事前に学習したり準備することで、自ら学ぶ姿勢で取り組む					
学習目標 (到達目標)	・インターンシップに参加し、自分の目指す姿を想像できるようになる					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1～2	インターンシップレポート準備、目標書き、企業研究					
3	インターンシップ発表 座談会					
4～13	インターンシップ研修					
14	終了面談					
15	振り返り					
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は	1	2	7			によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (30 %)				6 発表 (%)		
2 授業内の態度や参加度が評価できる (50 %)				7 最終レポート (20 %)		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)				8 その他 (%)		
4 期末試験 (%)				9 その他 (%)		
5 授業内の小テストや課題提出 (%)				10 その他 (%)		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意	企業の方の迷惑にならないように、ビジネスマナーや礼儀を弁えた行動を取ること。					
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	インターンシップ実習Ⅲ					
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	後期	
必修・選択	選択	単位数	1	時間数(90分)	15コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	・現場で学び、業界や仕事の理解に繋げる ・事前に学習したり準備することで、自ら学ぶ姿勢で取り組む					
学習目標 (到達目標)	・インターンシップに参加し、自分の目指す姿を想像できるようになる					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1～2	インターンシップレポート準備、目標書き、企業研究					
3	インターンシップ発表 座談会					
4～13	インターンシップ研修					
14	終了面談					
15	振り返り					
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は	1	2	7			によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (30 %)	6 発表 (%)					
2 授業内の態度や参加度が評価できる (50 %)	7 最終レポート (20 %)					
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)	8 その他 (%)					
4 期末試験 (%)	9 その他 (%)					
5 授業内の小テストや課題提出 (%)	10 その他 (%)					
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意	企業の方の迷惑にならないように、ビジネスマナーや礼儀を弁えた行動を取ること。					
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	地域貢献活動Ⅰ					
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	通年	
必修・選択	選択	単位数	1	時間数	15コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	・新潟市東地区公民館主催事業「お寺でゴーン」に参加し、地域活性の取り組みを学ぶ					
学習目標 (到達目標)	・イベントボランティアとして打ち合わせ、準備、本番に参加する					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1～2	イベント説明、打ち合わせ					
3	スタッフ顔合わせ					
4	イベント準備					
5～14	お寺でゴーン本番参加					
15	振り返り					
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は	1	2	7			によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (30 %)	6 発表 (%)					
2 授業内の態度や参加度が評価できる (50 %)	7 最終レポート (20 %)					
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)	8 その他 (%)					
4 期末試験 (%)	9 その他 (%)					
5 授業内の小テストや課題提出 (%)	10 その他 (%)					
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意	指示を待つだけでなく自分ができることを考えながら、積極的に行動してください。					
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり					

科目名	キャリアデザインII					
担当教員	担任	実務授業の有無	有	授業形態	対面	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	通年	
必修・選択	必修	単位数		時間数	110コマ	
授業概要、目的、授業の進め方	葬祭ディレクター科のビジョンを共有し、目指す大人の姿を知る					
学習目標 (到達目標)	自分の目指す姿、目標を一人ひとりが決める					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考			
1～10	オリエンテーション (学校を知る・スケジュールを知る・学校の規律を学ぶ)		手引き			
11～14	パソコンの設定・使い方指導、目標設定		パソコン演習			
15～20	学年交流、クラス交流、すらら説明、すらら学習		グループディスカッション			
21～24	ゴールデンウィークの課題確認・時間割、テキスト説明・クラス交流		すららアプリ・各種プリント			
25～28	クラスホームルーム、コミュニケーションタイム					
29～32	クラスインフォメーション、ディスカッション、履歴書書き		グループディスカッション			
33～44	国内研修旅行		グループディスカッション			
45～46	国内研修旅行振り返り		レポート			
47～50	グループディスカッション、クラスホームルーム、会場見学		グループディスカッション			
51～54	夏休み前のインフォメーション、大掃除		プリント			
55～58	すらら学習、クラスホームルーム、修了式		プリント			
59～68	すらら学習、卒業生座談会、クラスホームルーム		レポート			
69～78	自己PR、3stepシート作成		3stepシート			
79～88	業界フェア見学、レポート書き、すらら学習		すららまとめテスト			
89～99	すらら学習、プレ求職登録面接		すららアプリ・各種プリント			
100～104	すらら学習、求職登録面接、課外授業		すららアプリ・各種プリント			
105～110	求職登録面接、修了式、大掃除					
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は	1	2				によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (50 %)					6 発表 (%)	
2 授業内の態度や参加度が評価できる (50 %)					7 最終レポート (%)	
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)					8 その他 (%)	
4 期末試験 (%)					9 その他 (%)	
5 授業内の小テストや課題提出 (%)					10 その他 (%)	
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(道試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意	自分でも情報収集を行い、自分にとって価値のある時間にすること					
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり					

科目名	ビジネス実務Ⅱ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	1年次に修得したビジネスマナーを基礎として、実践的な演習を行う。人前で話す事にも重点を置き、プレゼンテーションやロールプレイを通して、話し方や文章構成、社会人として求められる伝達力、表現力の向上を目指す。また、小テストを行いながら一人一人の理解度を確認していく。				
学習目標 (到達目標)	適切な敬語、言葉使い、社会人としてふさわしい態度および行動を知っているではなくできるになる事				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	ウィネット「プレゼンテーション講座」				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人に向けてのマナーの定義		講義		
2	敬語と言葉の言い換え・リフレーミング・小テスト		講義・演習		
3	名刺交換（複数・応用）・案内・小テスト		講義・演習		
4	「聴く姿勢」と「共感の言葉」・小テスト		講義・演習（PC必要）		
5	電話応対（ロールプレイ）・小テスト		講義・演習		
6	話の構成（PREP法）・小テスト		講義・演習		
7	オンラインでの打ち合わせ・姿勢・話し方		講義・演習（PC必要）		
8	文書構成・メール作成送信　ホスピタリティを両立させた文書		講義・演習（PC必要）		
9	プレゼンテーションの基本		講義		
10	正しい敬語での自己表現		講義・演習		
11	話し方の技術（言語化と発声）		講義・演習		
12	プレゼン①：準備　自己、相互評価		講義・演習		
13	プレゼン②：グループ発表　自己、相互評価		講義・演習		
14	プレゼン②：全体発表		講義・演習		
15	総合テスト・振り返り				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	5		によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（　30　％）					6 発表（　　％）
2 授業内の態度や参加度が評価できる（　30　％）					7 最終レポート（　　％）
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（　　％）					8 その他（　　％）
4 期末試験（　　％）					9 その他（　　％）
5 授業内の小テストや課題提出（　40　％）					10 その他（　　％）
※より詳細な各項目の評価％が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は　A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	ロールプレイへの取り組みや、挨拶、返事、姿勢などの基本的な態度について評価します。ミニテストで知識確認と、演習を通じた実践を重ねることにより社会人として自信を持って行動できる力を養います。				
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅱ									
担当教員	担任	実務授業の有無	有	授業形態	対面					
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	前期					
必修・選択	必修	単位数		時間数	5コマ					
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 実践行動学Ⅰで学習した内容を踏まえ、1年間の振り返りを行う 2. 働くことへの意識を気付き→認識→一般化→応用という手法をとり入れ、 個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める									
学習目標 (到達目標)	社会人へでの準備→2年後の目標→ライフプランへと段階を経て、将来の自分を具現化させる									
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	パート3 マジックドア1 入学から今日までの成長を実感する			個人作業・グループディスカッション						
2	パート3 マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう			個人作業・グループディスカッション						
3	パート3 マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは			個人作業・グループディスカッション						
4	パート3 マジックドア4 将来を描いてみよう			個人作業・グループディスカッション						
5	パート3 マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう			個人作業・グループディスカッション						
評価方法・成績評価基準										
この科目評価は	1	2				によって総合的に評価される（番号を記入）				
1 出席率（8割以上）（ 70 %）	6 発表（ %）									
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）	7 最終レポート（ %）									
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）	8 その他（ %）									
4 期末試験（ %）	9 その他（ %）									
5 授業内の小テストや課題提出（ %）	10 その他（ %）									
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする										
履修上の注意	就職直後、数年後、未来・・・の目標を描かせることで、ポジティブな気持ちを継続させる。									
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり									

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホスピタリティコミュニケーション				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10コマ
授業概要、目的、授業の進め方	1、ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	ナレッジツリーのしくみを理解し、日常生活の中で知識教養が自然に身についていく生活習慣をつくる ホスピタリティ産業の中で、ホスピタリティがどのように活用され、あるいは活用されていないかを知り、実際のビジネスの現場について学びながら、自然にセカンドステップが無理できるようにトレーニングする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1・2	自分のイヤ 自分以外の人のイヤ			パワーポイント	
3	料飲ビジネスとホスピタリティ			パワーポイント	
4	ホテルビジネスとホスピタリティ			パワーポイント	
5	ウェディングビジネスとホスピタリティ			パワーポイント	
6	フューネラルビジネスとホスピタリティ			パワーポイント	
7	医療ビジネスとホスピタリティ			パワーポイント	
8	航空ビジネスとホスピタリティ			パワーポイント	
9	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業			パワーポイント	
10	ホスピタリエの共感レポート			パワーポイント	
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	7		によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (20 %)				6 発表 (%)	
2 授業内の態度や参加度が評価できる (30 %)				7 最終レポート (50 %)	
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)				8 その他 (%)	
4 期末試験 (%)				9 その他 (%)	
5 授業内の小テストや課題提出 (%)				10 その他 (%)	
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。				
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ソフトウェア活用実習Ⅱ				
担当教員		竹内正明	実務授業の有無	有	授業形態	対面と遠隔
対象学科		全科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数		時間数（50分）	35コマ
授業概要、目的、 授業の進め方		実務に必要なパソコンスキルを学び、サーティファイEXCEL表計算処理技能能力検定3級に合格する				
学習目標 (到達目標)		サーティファイEXCEL表計算処理技能能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		サーティファイEXCEL2021クイックマスター基本編 EXCEL表計算処理技能認定試験3級問題集				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1～3	エクセルの基本 データの編集 表の編集			実習		
4～6	ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理			実習		
7～9	関数 データベース機能			実習		
10～12	練習問題 1			実習		
13～15	練習問題 2 3			実習		
16～18	模擬問題 1 2			実習		
19～21	模擬問題 3 4			実習		
22～24	模擬問題 5 6			実習		
25・26	模擬問題 7 苦手箇所の練習			実習		
27～33	サンプル問題 事前対策			実習		
34・35	エクセル検定3級受検			実習		
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は		1	2	3	5	によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 25%）					6 発表 （ %）	
2 授業内の態度や参加度が評価できる （ 25%）					7 最終レポート （ %）	
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む （ 25%）					8 その他 （ %）	
4 期末試験 （ %）					9 その他 （ %）	
5 授業内の小テストや課題提出 （ 25%）					10 その他 （ %）	
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意		復習をメインに模擬問題を確実なものにすることで、検定合格に結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。				
実務経験教員の経歴		企業OAインストラクター、民間PCセミナー講師、専門学校非常勤講師				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	日常英会話Ⅱ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	有	授業形態	対面・オンライン
対象学科	全学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数(50分)	25コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	スタディサプリEnglishからのアプリを用いて、英会話の授業を習熟度別に行う。苦手意識を持たず、たくさん発音できる環境をつくる。入社後は海外からのお客様を相手にすることも多いことを念頭に置いてスムーズな発話とリスニングにも力を入れて進める。				
学習目標 (到達目標)	自分のレベル課題が終了し、英語への抵抗感がなくなる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1.2	オリエンテーション			スタディサプリEnglish	
3.4	Unit 1 Lesson 5 (トレーニング1/2/4)				
5.6	Unit 2 Lesson 10 (トレーニング1/2/4)				
7.8	Unit 3 Lesson 15 (トレーニング1/2/4)				
9・10	Unit 6 Lesson 30 (トレーニング1/2/4)				
11.12	Unit 7 Lesson 35 (トレーニング1/2/4)				
13.14	Unit 9 Lesson 45 (トレーニング1/2/4)				
15.16	Unit 10 Lesson 50 (トレーニング1/2/4)				
17.18	Unit 11 Lesson 55 (トレーニング1/2/4)				
19・20	2年生 U12 Lesson は担当指定				
21.22	2年生 Lesson は担当指定テスト練習				
23.24	2年生 総合テスト				
25	総合確認・振り返り				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	5		によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (30%)				6 発表 () %	
2 授業内の態度や参加度が評価できる (30%)				7 最終レポート () %	
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む () %				8 その他 () %	
4 期末試験 () %				9 その他 () %	
5 授業内の小テストや課題提出 (40%)				10 その他 () %	
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	高校時代の学習レベルが違うことに配慮し、文法よりも楽しく会話することに重点を置く。				
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり				

科目名	葬儀概論Ⅱ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面・オンライン
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数（50分）	110コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	・テキストに沿って重要なポイントをチェックする ・検定の過去問題に取り組み問題に慣れる				
学習目標 （到達目標）	学科試験に合格できるだけの力を身に着ける				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	葬儀概論ほか				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	オリエンテーション 2年次の目標とスケジュールを知る		時間割・年間スケジュールを使用。		
3 4	葬祭ディレクター技能審査の内容知り、申し込みを行う		過去問題集を使用し、検定内容の把握や意識付け		
5～8	第1章 葬儀の意味		葬儀概論 P10～19		
9～18	第2章 葬儀の歴史		葬儀概論 P21～78		
19～24	第3章 死とその環境		葬儀概論 P81～P98		
25～38	第4章 葬儀の実際（復習）		葬儀概論 P100～P161		
39～52	第5章 葬儀の実際		葬儀概論 P164～P234		
53～60	第6章 社葬・団体葬		葬儀概論 P236～P250		
61～66	第7章 日本の宗教の概要		葬儀概論 P252～P262		
67～80	第8章 宗教儀礼		葬儀概論 P264～P307		
81～86	第9章 葬祭サービスと葬祭ディレクター		葬儀概論 P310～P324		
87～93	第10章 関連法規とその解説		葬儀概論 P328～P341		
94	過去問題（学科試験）に取り組む 2014		過去問題集を使用。		
95	過去問題（学科試験）に取り組む 2015		過去問題集を使用。		
96	過去問題（学科試験）に取り組む 2016		過去問題集を使用。		
97	過去問題（学科試験）に取り組む 2017		過去問題集を使用。		
98	過去問題（学科試験）に取り組む 2018		過去問題集を使用。		
99	過去問題（学科試験）に取り組む 2019		過去問題集を使用。		
100	過去問題（学科試験）に取り組む 2021		過去問題集を使用。		
101	過去問題（学科試験）に取り組む 2022		過去問題集を使用。		
102	過去問題（学科試験）に取り組む 2023		過去問題集を使用。		
103	オリジナル問題（歴史）に取り組む		オリジナル問題を使用。		
104	オリジナル問題（宗教）に取り組む		オリジナル問題を使用。		
105	オリジナル問題（法規税務）に取り組む		オリジナル問題を使用。		
106～109	実技筆記試験 過去問題（2015～2022）に取り組む		過去問題集を使用。		
110	2年間の振り返りレポート作成		レポート提出。		
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	5	7	によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 25 %）					6 発表 （ %）
2 授業内の態度や参加度が評価できる （ 25 %）					7 最終レポート（ 25 %）
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む （ %）					8 その他 （ %）
4 期末試験 （ %）					9 その他 （ %）
5 授業内の小テストや課題提出 （ 25 %）					10 その他 （ %）
※より詳細な各項目の評価％が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	予習、復習を行い知識を習得すること				
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬祭ディレクター検定対策講座				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	45コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	1、検定に合格できる力をつける 2、宿題を用意し夏季休暇中も取り組みを継続する 3、非常勤と連携し、検定本番を想定した練習を実施する				
学習目標 (到達目標)	葬祭ディレクター技能審査 検定に合格する				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査過去問題集2026				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1 2	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る			過去問題 学科2022～解説	
3 4	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る			過去問題 学科2021～解説	
5 6	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る			過去問題 学科2019～解説	
7 8	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る			過去問題 学科2018～解説	
9 10	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る			過去問題 学科2017～解説	
11 12	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る			過去問題 学科2016～解説	
13 14	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る			過去問題 学科2015～解説	
15 16	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る			過去問題 学科2014～解説	
17 18	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る			過去問題 学科2013～解説	
19 20	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る			過去問題 学科2012～解説	
21 22	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る			過去問題 学科2011～解説	
23 24	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る			過去問題 学科2010～解説	
25 26	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る			過去問題 実技筆記2022～解説	
27 28	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る			過去問題 実技筆記2021～解説	
29 30	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る			過去問題 実技筆記2019～解説	
31 32	実技試験対策			検定課題 幕張	
33 34	実技試験対策			検定課題 接遇・司会	
35 36	実技試験対策			検定課題 幕張	
37 38	実技試験対策			検定課題 接遇・司会	
39 40	実技試験対策			検定課題 幕張	
41 42	実技試験対策			検定課題 接遇・司会	
43～45	各自苦手な問題に取り組む				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	3			によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (20 %)				6 発表 (%)	
2 授業内の態度や参加度が評価できる (%)				7 最終レポート (%)	
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (80 %)				8 その他 (%)	
4 期末試験 (%)				9 その他 (%)	
5 授業内の小テストや課題提出 (%)				10 その他 (%)	
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(道試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	検定対策特別講義。通常授業だけでなく本番1週間前に行い、合格への意識付けや学びの時間とする。				
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり				

科目名		手話演習Ⅱ				
担当教員		NPO法人にいま～る	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科		葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択		必修	単位数		時間数	25コマ
授業概要、目的、 授業の進め方		1、手話の幅広い表現を身につける 2、思いやりの気持ちを育む				
学習目標 (到達目標)		表情や身振り手振りなど幅広い表現力を身につける				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		ゼロから分かる手話入門				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
12	1年生の振り返り			テキストと動画を使用。		
34	5W1Hの使い方を学ぶ。			テキストと動画を使用。		
56	公共交通機関及び旅行で使われる日常会話の単語を学ぶ。			テキストと動画を使用。		
78	建物の単語、乗り物、食べ物の単語を学ぶ。			テキストと動画を使用。		
910	災害に関する単語を学ぶ。			テキストと動画を使用。		
1112	交通機関に関する単語を学ぶ。			テキストと動画を使用。		
1314	病院に関する単語を学ぶ。			テキストと動画を使用。		
1516	郵便に関する単語を学ぶ。			テキストと動画を使用。		
1718	銀行に関する単語を学ぶ。			テキストと動画を使用。		
1920	都道府県に関する単語を学ぶ。			テキストと動画を使用。		
2122	新しい言葉・単語を学ぶ。			テキストと動画を使用。		
2324	確認テスト。			テキストと動画を使用。		
25	2年間の振り返り。			テキストと動画を使用。		
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は		1	2	4		によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）					6 発表（ %）	
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）					7 最終レポート（ %）	
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）					8 その他（ %）	
4 期末試験（ 40 %）					9 その他（ %）	
5 授業内の小テストや課題提出（ %）					10 その他（ %）	
※より詳細な各項目の評価％が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意		授業で学んだことを私生活でも生かせるように、積極的に取り組んでください。				
実務経験教員の経歴		10年以上経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	祭壇設営・幕張演習				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25コマ
授業概要、目的、授業の進め方	1、検定課題であるテーブル幕張の課題を覚え、実践できる 2、制限時間内に課題をクリアできる				
学習目標 (到達目標)	検定課題の合格				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	葬祭ディレクター技能審査過去問題集2026 ボンデ（葬儀用の幕） 検定用白幕				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1年生で学んだことを振り返る		過去問題集を使用。		
2	試験課題(テーブル装飾)の要点を理解する		検定の要項を見て確認する		
3	テーブル装飾のやり方を覚える		幕張の実習を行う・時間を意識する		
4	テーブル装飾のやり方を覚える		幕張の実習を行う・時間を意識する		
5	テーブル装飾のやり方を覚える		幕張の実習を行う・時間を意識する		
6	テーブル装飾のやり方を覚える		幕張の実習を行う・時間を意識する		
7	テーブル装飾の練習（タイムを計る）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
8	テーブル装飾の練習（タイムを計る）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
9	テーブル装飾の練習（タイムを計る）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
10	テーブル装飾の練習（タイムを計る）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
11	テーブル装飾練習（目標9分以内）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
12	テーブル装飾練習（目標9分以内）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
13	テーブル装飾練習（目標8分以内）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
14	テーブル装飾練習（目標8分以内）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
15	テーブル装飾練習（目標8分以内）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
16	テーブル装飾練習（目標7分台以内）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
17	テーブル装飾練習（目標7分台以内）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
18	テーブル装飾練習（7分台）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
19	テーブル装飾練習（7分台）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
20	テーブル装飾練習（7分台）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
21	テーブル装飾練習（7分台）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
22	テーブル装飾（7分以内）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
23	テーブル装飾（7分以内）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
24	テーブル装飾（7分以内）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
25	テーブル装飾（7分以内）		幕張の実習を行う・時間を意識する		
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	3		によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 20 %）					6 発表（ %）
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）					7 最終レポート（ %）
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ 50 %）					8 その他 （ %）
4 期末試験（ %）					9 その他 （ %）
5 授業内の小テストや課題提出（ %）					10 その他 （ %）
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(満点合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	検定対策。自分で課題を見つけながら、苦手なところを修正していく。				
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		司会演習									
担当教員		馬場秀憲		実務授業の有無		有	授業形態		対面		
対象学科		葬祭ディレクター科		対象学年		2		開講時期		前期	
必修・選択		必修		単位数				時間数		30コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方		式典の運営や進行方法、宗教による違いを学ぶ はっきりわかりやすく丁寧に感じの良い司会、心ある伝え手を目指す									
学習目標 (到達目標)		通夜・葬儀の台本や弔電を聞き取りやすく丁寧に読む その場に相応しい挨拶や敬語を身につける アクシデント等への対応力を培う									
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		大和田作成発声発音練習原稿 通夜葬儀司会台本 司会資料 YouTube									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1・2	とりあえず声を出しましょう					自己紹介 第一印象の重要性 口の開け方 発声・発音 ショートコメント読み					
3・4	はっきりわかりやすく伝えるために					発声・発音練習 強調のテクニック 見た目からのアプローチ ショートコメント読み					
5・6	正しい日本語で正確に伝えるために①					発声・発音練習 心ある接客用語 シンプルコメント読み					
7・8	正しい日本語で正確に伝えるために②					発声・発音練習 敬語の使い方 台本を読んでみよう					
9・10	美しい日本語で的確に伝えるために①					発声・発音練習 親族の呼び名について 通夜台本読み					
11・12	美しい日本語で的確に伝えるために②					発声・発音練習 弔電読み 固有名詞の確認 葬儀台本読み					
13・14	心ある伝え手を目指して①					発声・発音練習 台本読みおさらい アクシデント対応					
15・16	心ある伝え手を目指して②					発声・発音練習 ビデオ撮影で自分を客観的に見てみよう					
17・18	通夜の台本読みを完成させよう					発声・発音・台本読み タイミング合わせ（浄土真宗）					
19・20	葬儀の台本読みを完成させよう					発声・発音・台本読み タイミング合わせ（他宗派）					
21～24	技能審査の司会台本にチャレンジ①					発声・発音練習 台本作成と台本読み					
25～28	技能審査の司会台本にチャレンジ②					発声・発音練習 自然な話し方・台本読み					
29・30	総括 集大成の「発表」					発声・発音・台本練習 総まとめビデオ撮影 総評					
評価方法・成績評価基準											
この科目評価は		1	2	6	8	9				によって総合的に評価される（番号を記入）	
1 出席率（8割以上）（ 20%）							6 発表（ 20%）				
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 20%）							7 最終レポート（ %）				
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）							8 その他		出来栄	30%	
4 期末試験（ %）							9 その他		HWの取り組み	10%	
5 授業内の小テストや課題提出（ %）							10 その他			（ %）	
※より詳細な各項目の評価％が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする											
履修上の注意		必ず向上することを自己で実感できるようにし学生のモチベーションを保つ									
実務経験教員の経歴		10年以上経験あり									

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	接遇・受注（受注施行）					
担当教員	馬場秀憲		実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科		対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修		単位数		時間数	30コマ
授業概要、目的、授業の進め方	1、検定課題である接遇の課題を覚え、実践できる 2、制限時間内に課題をクリアできる					
学習目標（到達目標）	検定課題の合格					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査 過去問題集2026					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	授業の目的・内容の説明			問題集を使用。		
2	検定課題の司会のポイントを知る			検定の要項を見て確認する		
3	接遇応対（弔問での応対）を実践し、遺族と葬儀社のやり取りのイメージを持つ			葬儀概論 P105～P107		
4	交通応対（病院・自宅での応対）を実践し、遺族と葬儀社のやり取りのイメージを持つ			葬儀概論 P107～P109		
5	接遇応対（病院・自宅での応答）を覚えて実践できる			レジュメを使用する		
6	接遇応対（遺体の搬送安置）を実践し、イメージを持つ			実習で学ぶ。		
7	家族葬と一般葬の違いを知る			葬儀概論 P72		
8	検定課題（接遇）の例題を実際にやって傾向を知る			過去問題集を使用		
9	検定課題（接遇）の過去問題（2010年）を実践する			過去問題集を使用		
10	検定課題（接遇）の過去問題（2011年）を実践する			過去問題集を使用		
11	検定課題（接遇）の過去問題（2012年）を実践する			過去問題集を使用		
12	検定課題（接遇）の過去問題（2013年）を実践する			過去問題集を使用		
13	検定課題（接遇）の過去問題（2014年）を実践し、2分以内で完了する			過去問題集を使用		
14	検定課題（接遇）の過去問題（2015年）を実践し、2分以内で完了する			過去問題集を使用		
15	検定課題（接遇）の過去問題（2016年）を実践し、2分以内で完了する			過去問題集を使用		
16	検定課題（接遇）の過去問題（2017年）を実践し、2分以内で完了する			過去問題集を使用		
17	検定課題（接遇・司会2018年）を通して実施し、本番の流れを覚える			過去問題集を使用		
18	検定課題（接遇・司会2019年）を通して実施し、本番の流れを覚える			過去問題集を使用		
19	検定課題（接遇・司会2021年）を通して実施し、本番の流れを覚える			過去問題集を使用		
20	検定課題（接遇・司会2022年）を通して実施し、本番の流れを覚える			過去問題集を使用		
21	検定課題（接遇・司会2023年）を通して実施し、本番の流れを覚える			過去問題集を使用		
22	検定課題（接遇・司会2024年）を通して実施し、本番の流れを覚える			過去問題集を使用		
23	検定課題（接遇・司会オリジナル）を通して実施し、本番の流れを覚える			過去問題集を使用		
24	検定課題（接遇・司会オリジナル）を通して実施し、本番の流れを覚える			過去問題集を使用		
25	検定課題（接遇・司会オリジナル）を通して実施し、本番の流れを覚える			過去問題集を使用		
26	検定課題（接遇・司会オリジナル）を通して実施し、本番の流れを覚える			過去問題集を使用		
27	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する			過去問題集を使用		
28	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する			過去問題集を使用		
29	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する			過去問題集を使用		
30	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する			過去問題集を使用		
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は	1	2	3			によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（20%）						6 発表（ %）
2 授業内の態度や参加度が評価できる（30%）						7 最終レポート（ %）
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（50%）						8 その他（ %）
4 期末試験（ %）						9 その他（ %）
5 授業内の小テストや課題提出（ %）						10 その他（ %）
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(通試験合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意	検定対策。自分なりの課題を見つけて、修正すること。					
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり					

科目名	公衆衛生学				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ご遺体の変化や感染症について知る				
学習目標 (到達目標)	確認テスト				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 ほかにレジュメを作成				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1~2	なぜ葬儀従事者に遺体処置や納棺の知識が必要なのかを知る		テキスト+レジュメを使用。		
3	死化粧が遺族にもたらす影響を知る		テキスト+レジュメを使用。		
4	葬儀における湯濯・納棺の種類や目的を知る		テキスト+レジュメを使用。		
5	儀式としての湯濯・納棺の意味を知る		テキスト+レジュメを使用。		
6	副葬品について学ぶ		テキスト+レジュメを使用。		
7~8	湯濯・納棺の流れと口上を覚える		テキスト+レジュメを使用。		
9~10	死化粧（あざ消し、シミ消し）のやり方を学ぶ①		テキスト+レジュメを使用。		
11~12	死化粧（あざ消し・シミ消し）のやり方を学ぶ②		テキスト+レジュメを使用。		
13~14	死化粧（あざ消し、シミ消し）をやり方を覚える		テキスト+レジュメを使用。		
15~16	死化粧（あざ消し、シミ消し）を実践できる		テキスト+レジュメを使用。		
17	遺体の状況を知るための方法を学ぶ		テキスト+レジュメを使用。		
18~19	遺体の確認ポイントを知り覚える		テキスト+レジュメを使用。		
20	遺体の状態や変化を学ぶ①（変色について）		テキスト+レジュメを使用。		
21	遺体の状態や変化を学ぶ②（漏出、むくみ）		テキスト+レジュメを使用。		
22	遺体の状態や変化を学ぶ③（スキンスリップ、腐敗）		テキスト+レジュメを使用。		
23	遺体の状態や変化を学ぶ④（皮下気腫、ガス）		テキスト+レジュメを使用。		
24~25	看護行為に起因する遺体の悪化状況を知る		テキスト+レジュメを使用。		
26~27	遺体の処置の目的や方法を学ぶ①（出血、点滴痕）		テキスト+レジュメを使用。		
28~29	遺体の処置の目的や方法を学ぶ②（腐敗、損傷）		テキスト+レジュメを使用。		
30	確認テスト		テストを作成する。		
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	4		によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（20%）					6 発表（%）
2 授業内の態度や参加度が評価できる（30%）					7 最終レポート（%）
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（%）					8 その他（%）
4 期末試験（50%）					9 その他（%）
5 授業内の小テストや課題提出（%）					10 その他（%）
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	文字だけでなく写真や実習などを組み合わせて、少しでも実際の現場が想像できるようにする。				
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり				

科目名	納棺師									
担当教員	馬場秀憲		実務授業の有無		有		授業形態		対面	
対象学科	葬祭ディレクター科		対象学年		2		開講時期		前期	
必修・選択	必修		単位数				時間数		25コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ご遺体の処置（死装束）への着せ替えを覚える									
学習目標 (到達目標)	一人で着せ替えができるようになる									
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	増補四訂葬儀概論									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考				
1・2	オリエンテーション（授業の目的を知る）～死化粧の目的を覚える					実習で学ぶ。				
3～5	死化粧を実践し、やり方を覚える（ペアになってお互いにメイク）					実習で学ぶ。				
6～8	死化粧を実践し、やり方を覚える（ペアになってお互いにメイク）					実習で学ぶ。				
9～11	死化粧を実践し、やり方を覚える（ペアになってお互いにメイク）					実習で学ぶ。				
12～23	着せ替えの仕方を実践で覚える					実習で学ぶ。				
24～25	確認テスト（一人で着せ替えを行う）					実習で学ぶ。				
評価方法・成績評価基準										
この科目評価は	1	2	4							によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 20 %）						6 発表（ %）				
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）						7 最終レポート（ %）				
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）						8 その他（ %）				
4 期末試験（ 50 %）						9 その他（ %）				
5 授業内の小テストや課題提出（ %）						10 その他（ %）				
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする										
履修上の注意	着せ替えやメイクの実習を行うため、授業時の服装などにも注意が必要。									
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり									

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬祭フラワーⅡ					
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	前期	
必修・選択	必修	単位数		時間数	10コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、フラワーアレンジメントの基礎知識を学び、墓花や仏花・祭壇生花の設営の仕方を実践で学ぶ。					
学習目標 (到達目標)	祭壇生花のデザインを考え、実際に飾ってみる					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	生花を使用して実習で学ぶ。予算を決める。					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1～2	生花のアレンジを作成する			実習で学ぶ。		
3～4	法要の筒花を作成する			実習で学ぶ。		
5～10	菊と生花で祭壇を制作（全員で1つの祭壇を作る）			実習で学ぶ。		
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は	1	2				によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 50 %）				6 発表 （ %）		
2 授業内の態度や参加度が評価できる （ 50 %）				7 最終レポート （ %）		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む （ %）				8 その他 （ %）		
4 期末試験 （ %）				9 その他 （ %）		
5 授業内の小テストや課題提出 （ %）				10 その他 （ %）		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意	生花の扱い方、管理の仕方を身につけてください。					
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬祭マーケティング論					
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	オンライン	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	前期	
必修・選択	必修	単位数		時間数	20コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、マーケティングの基本概念や考え方を学ぶ。 2、葬祭業界の歴史や変遷を知る					
学習目標 (到達目標)	マーケティングの基礎知識を習得し、葬祭業界の取り組みを知る					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	レジュメを使用。					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション～授業の目的を知る			レジュメを使用。		
2	マーケティングの概念を知る			事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
3	4つのステップについて①細分化			事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
4	4つのステップについて②ターゲットの特化			事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
5・6	4つのステップについて③マーケティングミックス			事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
7・8	製品ライフサイクルの考え方を知る			事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
9・10	葬祭業についておけるライフサイクルを知る			事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
11・12	ブランドづくりについて知る			事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
13・14	葬祭業におけるブランドを知る			事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
15・16	葬祭事業者のそれぞれの取り組みを知る			事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
17・18	顧客との長期的なつながりをつくる事例を知る			事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する		
19・20	レポート発表			レポート提出。		
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は	1	2	6	7	によって総合的に評価される（番号を記入）	
1 出席率（8割以上）（ 20 %）				6 発表（ 20 %）		
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）				7 最終レポート（ 30 %）		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）				8 その他（ %）		
4 期末試験（ %）				9 その他（ %）		
5 授業内の小テストや課題提出（ %）				10 その他（ %）		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意	毎回の授業までにテキストで予習し、授業当日は授業内容を理解できるよう、事前準備を行うこと。					
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	グリーフサポートⅡ										
担当教員	馬場秀憲			実務授業の有無	有	授業形態	対面				
対象学科	葬祭ディレクター科			対象学年	2	開講時期	前期				
必修・選択	必修			単位数		時間数	15コマ				
授業概要、目的、授業の進め方	1、死を迎えるまでの本人や家族の心理を知る。 2、グリーフにある人との向き合い方や接し方を身につける。										
学習目標 (到達目標)	グリーフに関する知識を身につける										
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	レジュメを作成。										
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1・2	オリエンテーション～「グリーフ」とは何かを学ぶ					レジュメを使用。					
3～6	病院でのエンゼルケア～看取りについて学ぶ					レジュメを使用。					
7・8	大人と子供のグリーフの違いについて学ぶ					レジュメを使用。					
9～12	グリーフの体験者同士のつながりを学ぶ。					レジュメを使用。					
13～15	最終レポート作成					レジュメを使用。					
評価方法・成績評価基準											
この科目評価は	1	2	7							によって総合的に評価される（番号を記入）	
1 出席率（8割以上）（ 20 %）						6 発表（ %）					
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）						7 最終レポート（ 50 %）					
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）						8 その他（ %）					
4 期末試験（ %）						9 その他（ %）					
5 授業内の小テストや課題提出（ %）						10 その他（ %）					
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする											
履修上の注意	授業の目的を理解し、自分だったらと想像しながら取り組んでください。										
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり										

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	グリーンワーク									
担当教員	馬場秀憲			実務授業の有無	有	授業形態	対面			
対象学科	葬祭ディレクター科			対象学年	2	開講時期	後期			
必修・選択	必修			単位数		時間数	10コマ			
授業概要、目的、授業の進め方	1、グリーンを知り、受け入れるためのワークショップを実習で学ぶ。									
学習目標 (到達目標)	グリーンに関する知識を身につける									
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	レジュメを使用。									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考				
1 2	授業の目的を知る、ワークショップ①					ワークショップ				
3 4	ワークショップ②					ワークショップ				
5 6	ワークショップ③					ワークショップ				
7 8	ワークショップ④					ワークショップ				
9 10	ワークショップ⑤、振り返り					ワークショップ				
評価方法・成績評価基準										
この科目評価は		1	2	7						によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (20 %)					6 発表 (%)					
2 授業内の態度や参加度が評価できる (30 %)					7 最終レポート (50 %)					
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)					8 その他 (%)					
4 期末試験 (%)					9 その他 (%)					
5 授業内の小テストや課題提出 (%)					10 その他 (%)					
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする										
履修上の注意		授業の目的を意識しながら、グループワークを行いましょう。								
実務経験教員の経歴		10年以上経験あり								

科目名		営業力（営業力強化検定）			
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	1、営業業務の基本的な知識を身につける 2、営業業務の技術を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	営業力強化検定に合格する				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	売れる営業のABC				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～2	オリエンテーション～営業とは何か		テキストとパワーポイントを使用。		
3～4	商品知識		テキストとパワーポイントを使用。		
5～6	マーケティング		テキストとパワーポイントを使用。		
7～8	顧客の購買心理		テキストとパワーポイントを使用。		
9～10	顧客ニーズ		テキストとパワーポイントを使用。		
11～12	ビジネスマナーとセールスマナー		テキストとパワーポイントを使用。		
13～14	営業プロセス①		テキストとパワーポイントを使用。		
15～16	営業プロセス②		テキストとパワーポイントを使用。		
17～18	コミュニケーション能力		テキストとパワーポイントを使用。		
19～20	提案書作成		テキストとパワーポイントを使用。		
21～22	販売促進		テキストとパワーポイントを使用。		
23～24	クレームと情報管理		テキストとパワーポイントを使用。		
25～33	練習問題		練習問題に取り組む		
34～35	確認テスト		テストを作成する。		
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	3		によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 20 %）					6 発表 （ %）
2 授業内の態度や参加度が評価できる （ 30 %）					7 最終レポート （ %）
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む （ 50 %）					8 その他 （ %）
4 期末試験 （ %）					9 その他 （ %）
5 授業内の小テストや課題提出 （ %）					10 その他 （ %）
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	営業の仕事を学ぶことで、葬祭業界に限らず社会で活かせる力をつける。				
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり				

科目名	事前相談演習				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	・葬儀の事前相談について、葬儀社の取り組みを知る ・事前相談を受けるスタッフに求められる力を知る				
学習目標 (到達目標)	・お客様の相談内容が想像でき、直接回答できなくても先輩や上司につなぐまでの力が身につく				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	葬儀概論、レジュメ他				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1~2	事前相談の役割・現状			テキスト+レジュメを使用。	
3~4	事前相談にお客様が求めるものとは			テキスト+レジュメを使用。	
5~6	事前相談をされることによるメリット（お客様）			テキスト+レジュメを使用。	
7~8	事前相談を行う葬儀社のメリット			テキスト+レジュメを使用。	
9~10	事前相談を行う際の注意点			テキスト+レジュメを使用。	
11~12	事前相談に求められる知識、能力			テキスト+レジュメを使用。	
13~14	正しい言葉遣い、身だしなみ			テキスト+レジュメを使用。	
15~16	電話応対			テキスト+レジュメを使用。	
17~18	接客基本動作、ロールプレイング			テキスト+レジュメを使用。	
19~20	確認テスト				
評価方法・成績評価基準					
この科目評価は	1	2	6		によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 30 %）				6 発表（ 40 %）	
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）				7 最終レポート（ %）	
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）				8 その他（ %）	
4 期末試験（ %）				9 その他（ %）	
5 授業内の小テストや課題提出（ %）				10 その他（ %）	
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする					
履修上の注意	自分が接客する立場を想像して、どんなスタッフであればお客様から信頼していただけるかを考えるながら 取り組んでください。				
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		イベントプロデュースⅡ											
担当教員		馬場秀憲			実務授業の有無		有		授業形態		対面・オンライン		
対象学科		葬祭ディレクター科			対象学年		2		開講時期		前期		
必修・選択		必修			単位数				時間数		160		
授業概要、目的、 授業の進め方		1、企業向け企画発表会を実施し、大人の意見をもらう場を設ける 2、企業連携イベントの実施（業界の課題や現在の取り組みを知り、業界発展の企画を実施する）											
学習目標 (到達目標)		卒業制作発表会で葬祭分野の発表を行う。											
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		増補四訂葬儀概論ほかレジュメを作成。											
回数	授業項目、内容						学習方法・準備学習・備考						
1～6	オリエンテーション～イベント内容を知る						レジュメを使用。						
7～22	現状調査						パソコンなどを使用。						
23～32	企画発表会の企画内容を考える						グループに分かれて現状を調査する。						
33～42	企画発表の台本作成						パソコンを使用。						
43～48	台本仮完成・PP作成						パソコン（ワード、パワーポイント）を使用。						
49～58	リハーサル						本番を想定して、身だしなみを整える						
59～64	企画発表会						不足の事態を想像しながら、周りと連携する						
65～66	振り返り～お礼状送付						レポート提出。						
67～82	アンケート内容などから企画の見直し・修正						グループに分かれて現状を調査する。						
83～92	企画書作成						パソコンを使用。						
93～106	シナリオ、台本作成						パソコンを使用。						
107～122	企画書修正						パソコンを使用。						
123～128	企画書完成						パソコンを使用。						
129～143	シナリオ、台本、パワポ修正						パソコンを使用。						
144～150	プレゼンテーション練習						本番を想定して、身だしなみを整える						
151～156	プレゼンテーション本番						不足の事態を想像しながら、周りと連携する						
157～160	振り返り～お礼状送付						レポート提出。						
評価方法・成績評価基準													
この科目評価は		1	2	6							によって総合的に評価される（番号を記入）		
1 出席率（8割以上）（ 30 %）								6 発表（ 40 %）					
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）								7 最終レポート（ %）					
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）								8 その他（ %）					
4 期末試験（ %）								9 その他（ %）					
5 授業内の小テストや課題提出（ %）								10 その他（ %）					
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする													
履修上の注意		インターネットの情報だけでなく、対象者へのインタビューやアンケートを実施してリアルな声を集めたり、質問して深堀することで大人が納得する内容を目指します。											
実務経験教員の経歴		10年以上経験あり											

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	卒業制作					
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面・オンライン	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	後期	
必修・選択	必修	単位数		時間数	50コマ	
授業概要、目的、授業の進め方	・葬祭業界の現状を調べ、自分たちが解決できそうな課題を見つけて企画を考える。 ・葬儀社や寺院など業界団体と連携して企画を実現する					
学習目標 (到達目標)	・2年間の集大成として、企業や保護者などに見ていただく					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1~2	動機付け、発表の内容、スケジュールについて			プリント		
3~4	グループにてスケジュール確認、発表内容と報告書の作成			プリント		
5~6	企業や団体などをリストアップし、現状や取り組みについてのアンケートや調査を行う			グループワーク		
7~10	スケジュールや進め方(新グループ、メンバー)を全体で共有する			グループワーク		
11~12	各グループは報告書完成させる。当日の会場装飾の準備を始める 実行委員は招待客のリストを作成する			グループワーク		
13~16	当日の発表に必要な台本+パワポを作成する			グループワーク		
17~18	当日の会場で、本番のイメージをつかむ			グループワーク		
19~22	台本+パワポの修正。完成。			グループワーク		
23~24	台本見ながら全体リハーサルを行い、他のグループ発表を聞いて、卒制全体のイメージをつかむ			グループワーク		
25~28	全体リハーサルの準備を始める(台本とパワポのタイミングを合わせる)			グループワーク		
29~32	企業の方に企画や発表を見ていただき、内容をより精査する 全体リハーサルの準備を行う(前後のつながりを考える)			グループワーク		
33~34	全体リハーサルを行い、卒制全体の流れを一人ひとりがつかむ			グループワーク		
35~36	全体リハーサルの準備を行う(聞いている人に伝わる話し方を意識しよう)			グループワーク		
37~40	全体リハーサル⇒振り返り、修正			グループワーク		
41~44	前日リハーサル⇒振り返り、修正			グループワーク		
45~48	企業、保護者本番			グループワーク		
49~50	振り返り(個人シート、グループ、実行委員他)					
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は	1	2	6			によって総合的に評価される(番号を記入)
1 出席率(8割以上) (30 %)				6 発表 (40 %)		
2 授業内の態度や参加度が評価できる (30 %)				7 最終レポート (%)		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む (%)				8 その他 (%)		
4 期末試験 (%)				9 その他 (%)		
5 授業内の小テストや課題提出 (%)				10 その他 (%)		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意	インターネットの情報だけでなく、対象者へのインタビューやアンケートを実施してリアルな声を集めたり、質問して深堀することで大人が納得する内容を目指します。					
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ライフシフト・SDGs					
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	有	授業形態	対面・オンライン	
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	後期	
必修・選択	必修	単位数		時間数	10コマ	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、社会から求められる企業の取り組みを知る 1、これからの自分の人生を想像し、今からできること・目指す姿を具体的に考える					
学習目標 (到達目標)	一人ひとりが社会に出たときの抱負を発表する					
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	レジュメを使用。パワポで発表。					
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1 2	授業の目的・授業のゴールを知る					
3～8	発表資料作成					
9 10	個人発表 授業の振り返り					
評価方法・成績評価基準						
この科目評価は	1	2	6			によって総合的に評価される（番号を記入）
1 出席率（8割以上）（ 20 %）				6 発表（ 50 %）		
2 授業内の態度や参加度が評価できる（ 30 %）				7 最終レポート（ %）		
3 検定試験の合格または検定試験結果を含む（ %）				8 その他（ %）		
4 期末試験（ %）				9 その他（ %）		
5 授業内の小テストや課題提出（ %）				10 その他（ %）		
※より詳細な各項目の評価%が明記されている場合には、その内容に従うこと ※成績基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(追試合格)・F(不合格)とする						
履修上の注意	卒業後の姿を見据えて、今から何ができるか考えてみよう。					
実務経験教員の経歴	10年以上経験あり					